

季節の行事を思いっきり経験させてくれます。

ひゅーるぽんは親と離れて大きな一歩を踏み出す暖かい場所。子どもたちが成人した将来を見据えた発達支援をしてくださっていると感じます。そして親にとっては傷を癒し、我が子のありのままの姿を愛おしく感じ、次のステップのためにエネルギーを蓄える場所だと感じています。

もし、ひゅーるぽんに入園されたら、子どもたちを束の間先生方にお任せして、お母さんは美容院に行ったり映画を観に行ったり今までできなかったことを楽しんで笑顔を取り戻して欲しいです！その間、子どもたちはひゅーるぽんで素敵な体験をたくさんしているはず。一緒に子育てで泣き笑いしましょう。

幼稚園に通うことも考えていましたが、もし通っていたら集団行動についていけるかと毎日ドキドキして過ごしていたと思います。幼稚園ではサポートしてくださる先生は少ないですし、年齢が上がるにつれそういった先生も減るところがあるようです。

ひゅーるぽんではたくさんの先生方に囲まれて安心して集団生活が過ごせます。

母子分離で通えるので、下の子がいても通園可能ですし、冬のお楽しみ会や節分などの季節行事も本格的です。

## ひよこぐみ 保護者の声



子どもがすごく良い環境で生活できているし、親もいろんなことを相談できる場所です。

子どものことを一番に考え、子どもの「楽しい」「できたよ」「やったー！！」などしっかり体験させてくれます。

ひゅーるぽんに出会えてよかったと思える場面がたくさん出会えます。

毎日の給食では偏食にも対応してくださり、少しずつ口にできるものが増えてきました。

我が子の発達障害がわかるまでは周りと同じように言葉を話し始めることも目をあわせて微笑み合うこともなく、その年齢に見合うはずの簡単な要求も伝わらず……。何をやっても空回り。子どもを抱えまるで自分自身が真っ暗な迷路に迷い込んでいるような感覚でした。

ひゅーるぽんに入園した日、手を離せばどこに走り出すかわからない我が子が初めて自分の手を離れ、人に任せることができることで心から安堵した思いを今でも忘れることができません。

いつでも暖かい笑顔で迎えてくださる明るいひゅーるぽんの先生方には何度も救われました。今でも様々な悩みを相談し、家庭での生活のことも一緒に考えてくださりサポートしていただいています。

子どもたちは明るくのびのびと成長しています。そして私も先生方や周りのお母さん方のおかげで笑顔の絶えない日々を送ることができています。

ひよこぐみに通うと、できなかったことが少しずつできるようになったり、自分で理解しながら行動する経験ができ「明日もひよこ行く～！」と楽しく通っています。ゆっくり成長するので絶対にあきらめてはいけません！子どもに負けないパワーを、お母さん、お父さん持ち続けてください！！

通う前は人となかなか目が合わず本当にやっつけられるかと不安でした。しかしすぐに慣れて毎日楽しく過ごしています。

人のことが苦手なのかと思っていましたが、ひよこ組では友だちの名前も覚え、けっして人と関わることができないわけではないんだなと気づくことができました。また、ひゅーるぽん以外の場でも順番や手順が守れるようになり、生活する力が身についてきているなと感じます。何より笑顔が増えたのがとても嬉しいです。

子どもの発達が遅れているとわかった時、色々な不安に押しつぶされそうになると思いますが、ひゅーるぽんは子どもたちだけじゃなくてそんな保護者も安心して集まれる「暖かな居場所」です。

自己肯定感を育ててもらえます。

2～3歳の頃はかんしゃくがひどく他害もあったので、外出するのを避け家で過ごす、毎日が辛い日々でした。

ひゅーるぽんに入ってから一人一人対応してくれるので、親自身がスケジュールやクールダウンの方法も学んでいながら、かんしゃくを起こすことも少なくなりました。

今では元気に幼稚園にも通っています。

ママたちが明るく前向きで、共に子どもたちの成長を喜んだり悩みを一緒に考えたりしてくれます。



早期療育をさせたかったのが2歳児から入ることができたのはとてもありがたいです。

我が子は2歳8ヶ月の時に診断を受けました。赤ちゃんの時から極端に睡眠時間が短くかんしゃくもひどいしこだわりもあったので、子どもの将来が心配で悲しくて……。でも診断を受けたことで納得した気持ちもありました。しかし、毎日どこでも泣いて暴れてどうにもならない我が子を前に私も一緒に泣いてしまう日もありました。

集団行動なんて本当にできるのかと不安な気持ちを抱えたまま年少の春にひゅーるぽんに入園しました。入園して半年ぐらいは毎日泣きながら暴れる息子を他の先輩ママと一緒に担いで連れて行ってくれる日もありました。

先生方はとても頼もしく、様々なこだわりで凝り固まっていた息子の心を毎日根気強くゆっくり溶きほぐしてくれました。給食では苦手な果物を少しずつ食形態を変化させながら毎日手間をかけ工夫して食べさせてくれ、今では色々な果物が食べられるようになりました。毎日の活動でできることや言葉もたくさん増え、歌を歌ったり友だちの名前も言うようになりました。そんな子どもの成長を先生方はまるで自分の子どものことのように一緒に喜んでくださり、その接し方は私たち親にとってとても安心できるものでした。

発達障害の特性を理解し専門的な視点で関わってくれるひゅーるぽんの環境で過ごせることが、子どもの成長を促してくれていると思っています。